

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価報告書

平成 25 年度事業分

平成 26 年 7 月作成

伯耆町教育委員会

## 目 次

○はじめに .....	1
○教育委員会の活動状況 .....	2
○点検と評価の方法 .....	6
○伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート .....	9

## ■はじめに

本報告書は、平成20年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」の一部改正により、新たに「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことが法第27条第1項に規定されたことに基づき、前年度における伯耆町教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検及び評価し、その結果をとりまとめたものです。

### ○点検及び評価の目的

伯耆町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価することによって、課題や取り組みの方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進を図るもので

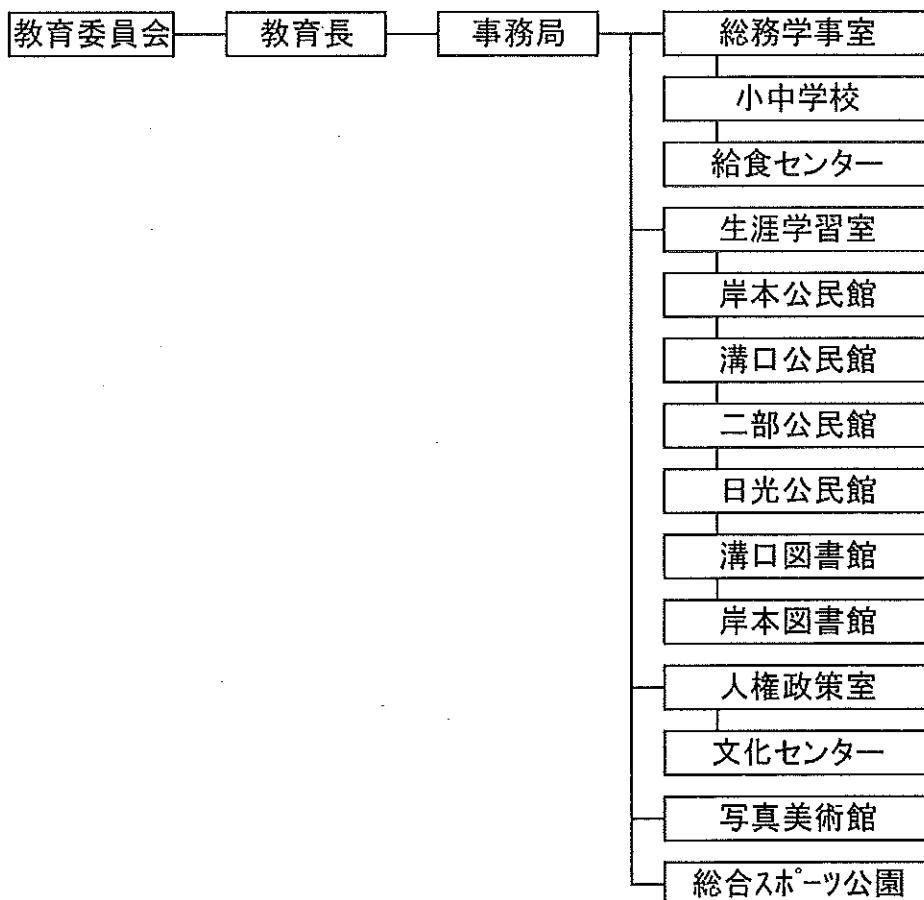
### ○点検及び評価の対象

伯耆町教育委員会が平成25年度に取り組んだ主な事務・事業を対象とします。

### ○伯耆町教育委員会委員名簿(平成26年4月1日現在)

委員長	伊 藤 浩
委員長職務代理	仲 倉 玄 雄
委 員	田 中 榮美子
委 員	大 木 寿 之
委 員(教育長)	後 藤 弥

### ○教育委員会の組織図



## ■教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会の開催状況

開催日	会議別	案件区分	案件名
4月 2日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	3月定例議会提出案件等の結果について
		議事	平成25年4月1日付け伯耆町教育委員会事務局職員の人事異動及び非常勤特別職員の任命の専決処理について
		議事	伯耆町営社会体育施設規則の一部改正について
		議事	学校評議員の委嘱について
		議事	学校関係者評価委員の委嘱について
		議事	学校運営協議会委員の任命について
		議事	公民館運営審議会委員の委嘱について
		議事	社会教育委員の委嘱について
		議事	伯耆町スポーツ推進委員の委嘱について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	学校支援地域本部事業に係るコーディネーターの任用について
		議事	スクールソーシャルワーカーの任用について
		議事	伯耆町教育支援センター職員の任用について
		議事	区域外就学について
4月 22日	臨時会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	学校校務分掌主任等の任命について
		議事	非常勤特別職員の任命の専決処理について
		議事	スポーツ推進委員の委嘱について
		議事	学校関係者評価委員及び学校評議員の委嘱について
6月 4日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	学校統合に係るPTA等との協議状況について
		報告	社会教育委員の委嘱について
		協議	平成25年度教育委員会関係補正予算について
		協議	請負工事契約の締結について
		協議	物品購入契約の締結について
		その他	事務連絡
6月 25日	臨時会	協議	教育支援センターの連携に関する協定の締結について
		協議	不登校児童生徒等の自立支援事業に関する委託契約の締結について

		その他	事務連絡
7月 24日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	標準学力調査の結果について
		議事	特別支援教育就学奨励金支給の認定について
		議事	伯耆町図書館規則の一部改正について
		協議	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について
		その他	事務連絡
8月 21日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	文化財保護審議会委員の任命について
		議事	要保護・準要保護児童生徒の認定について
		議事	学校運営協議会委員の任命について
		協議	平成25年度教育委員会関係補正予算の原案について
		協議	平成24年度教育委員会関係予算の決算の原案について
		協議	小学校統合の今後の進め方について
		その他	教育委員会制度について
		その他	とつどり教育の日について
		その他	土曜授業に関する意見について
		その他	町内中学校の県総体の結果について
10月 18日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	9月定例議会提出案件等の結果について
		報告	全国学力・学習調査結果 伯耆町の概要について
		報告	平成26年度特別支援教育に係る児童生徒の就学について
		報告	学校自己評価報告について
		議事	要保護・準要保護児童生徒の認定について
		議事	校区外等就学について
		協議	溝口中学校校舎耐震補強改修工事の設計について
		その他	町内中学校の中国・全国大会の結果について
11月 11日	定例会	議事	学校関係者評価委員の委嘱について
		議事	学校評議員の委嘱について
12月 5日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	教育委員会委員の任命について

		報告	伯耆町小学校統合に関する調査特別委員会(平成25年12月2日開催)について
		議事	区域外就学及び校区外就学について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	平成25年度教育委員会関係補正予算のについて
		協議	伯耆町スポーツ推進審議会答申案及び伯耆町スポーツ推進計画案について
1月 24日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	12月定例議会提出案件等の結果について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	土曜授業について
		その他	小中一貫教育について
2月 24日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	伯耆町立公民館における同好会登録に関する要綱の制定について
		報告	伯耆町立小中学校における土曜授業実施要領について
		議事	教育委員長の選挙及び教育委員長職務代理者の指定について
		議事	伯耆町立小中学校管理規則の一部改正について
		議事	学校運営協議会を設置する学校の指定について
		議事	学校運営協議会委員の任命について
		協議	平成25年度j教育委員会関係補正予算(一般会計第4号補正)の原案について
		協議	平成26年度教育委員会関係当初予算の原案について
		協議	伯耆町社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の原案について
		協議	工事請負契約の締結に関する議案の取り扱いについて
		協議	平成26年度伯耆町教育に関する要望書の回答について
		協議	伯耆町立写真美術館条例の一部を改正する条例の原案について
		その他	平成25年度伯耆町教育委員会表彰について
		その他	平成25年度小中学校卒業式及び平成26年度小中学校入学式について
		その他	3月定例教育委員会の開催日について
		その他	伯耆町スポーツ推進審議会の答申について
3月 11日	臨時会	議事	平成26年度伯耆町立小中学校の教職員の人事異動内申について
		議事	伯耆町スポーツ推進計画について
		その他	伯耆町スポーツ推進支援事業補助金について
		その他	3月定例町議会一般質問について
		その他	伯耆町小学校統合に関する調査特別委員会の中間報告について
3月 24日		報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定

	報告	障保館運営審議会委員・児童館運営委員について
	報告	男女共同参画審議会委員について
	報告	部落差別をはじめあらゆる差別をなくする人権尊重に関する審議会委員について
	議事	鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置について
	議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
	議事	区域外就学について
	議事	社会教育委員の委嘱について
	議事	伯耆町スポーツ推進計画の修正について
	議事	学校支援地域本部事業に係るコーディネーターの任用について
	協議	平成26年度伯耆町学校教育基本方針について

開催回数	13	
案件数	報告件数	36
	議案件数	42
	協議件数	20
	その他件数	17
	合計	115

## 2. 教育委員会関係会議・事業等

### (1)教育委員研修会・会議

- 市町村教育委員会研究協議会(第2ブロック)
- 鳥取県市町村教育委員会委員研究協議会総会・研修会
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会総会・研修会 (3回)

### (2)学校関係事業・行事

- 学校計画訪問 全小中学校
- 運動会・体育祭 全小中学校
- 学習発表会・文化祭 全小中学校
- 入学式・卒業式 全小中学校
- 教職員着任式・離任式
- 学校自己評価意見交換会 (2回)

### (3)その他

- 町長・副町長との意見交換会
- 伯耆町小学校統合に関する調査特別委員会との意見交換会

## 平成 25 年度 主要事業の点検評価

当該年度に取り組んだ、主要な事業について、事務の執行状況とそれに対する点検・評価の結果を報告する。

### □点検と評価の方法

平成 25 年度の教育委員会所管の業務のうち、次の点検・評価対象事業の成果と課題等について、教育委員会事務局による点検・評価を行い、この結果に対して、社会教育委員(兼図書館協議会委員)、小中学校校長、小中学校PTA会長及び教育委員に意見等を求めた。

### □点検・評価対象事業

伯耆町教育振興計画の事業展開方針に基づき、 25 年度に取り組んだ事業を対象とする。

#### 1. 学校教育関係事業基本方針「社会の一員として自立して生きてゆく児童生徒の育成」

##### (1) 学校・家庭・地域の連携

- ①教育の原点である家庭教育力の向上
  - ・家庭と学校の連携強化
  - ・家庭学習の手引の活用推進及び利活用方法の周知徹底
  - ・生涯学習事業や子育対策事業との連携 など
- ②地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組みづくり
  - ・学校支援地域本部事業
  - ・コミュニティ・スクール推進事業
  - ・スクールガードリーダー事業
  - ・青少年育成伯耆町民会議との連携 など

##### (2) 保・小・中の滑らかな接続

- ①一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の改善
  - ・幼保小接続推進事業
  - ・小中学校教員・児童生徒の交流
  - ・中学校教員の小学校への派遣
  - ・定期的情報交換会の実施 など

##### (3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

- ①確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実
  - ・学力向上施策の推進
  - ・人権・道徳、食育、体験学習、郷土学習など人間力育成教育の推進
  - ・スポーツの啓発
  - ・A L T の配置
  - ・学力調査の実施 など
- ②発達段階に応じた、きめ細やかな指導体制の充実
  - ・特別支援学級及び就学支援体制充実
  - ・学校運営の改善支援
  - ・学習支援員の配置
  - ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー配置 など

##### (4) 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備

- ①教員の資質向上と一人一人の子供に教員が向き合うための環境整備

- ・教職員研修の充実
- ・専門家の活用などによる小中学校への的確な指導助言の実施
- ・少人数学級の継続
- ・学習支援員の配置
- ・学校図書館職員の配置 など

②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備

- ・学校施設整備
- ・学校配置方針の決定
- ・学校事務共同処理 など

## 2. 社会教育関係事業基本方針 「学び続けるための基盤づくり」

### (1) 生涯を通じて学ぶための環境の整備

#### ①生涯学習の推進

- ・社会教育施設の改修・修繕と空公共施設の有効活用
- ・公民館を核とした住民活動の支援と関係課との連携
- ・生涯学習情報の積極的な発信
- ・公民館活動のさらなる充実と参加者の増加
- ・地域指導者の発掘
- ・図書館の利用促進と読書活動の推進
- ・成人団体の育成 など

#### ②生涯スポーツの推進

- ・関係課と連携した健康事業の推進
- ・スポーツ関係団体の育成及び活動支援
- ・体育施設の維持修繕及び利用促進
- ・各種スポーツ大会の実施 など

### (2) 町全体で取り組む青少年の健全育成

#### ①町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備

- ・青少年育成伯耆町民会議、こども会育成連絡協議会等関係団体の活動支援
- ・PTA協議会等との連携強化と活動支援
- ・青少年によるボランティア活動の推進
- ・地域指導者の発掘 など

#### ②家庭教育の充実

- ・「共育」環境づくり
- ・放課後子ども教室の設置
- ・スクールガードリーダーの配置
- ・学校や関係課と連携した子育て教室等の開催 など

### (3) 人権尊重のまちづくりの推進

#### ①人権教育・人権啓発の推進

- ・明るいまちづくり懇談会の充実等教育・啓発活動の推進
- ・人権教育・啓発推進協議会の活動支援
- ・相談業務の拡充
- ・個別計画に基づく事業の推進 など

### (4) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造

#### ①文化財の保存と活用

- ・文化財調査及び文化財保護
- ・文化財教室等の開催
- ・郷土学習の支援
- ・情報発信、周知活動の充実 など

#### ②地域芸術文化の振興

- ・伝統行事や地域文化活動の開催等支援
- ・文化施設の維持修繕及び利用促進
- ・芸術文化活動の発表の場づくり
- ・芸術文化団体・人材の活動支援と活動の周知 など

## 2. 評価方法

### (1)評価記号の説明

評価記号	説 明
◎	・新規に企画された事業で目標が達成された事業
○	・継続事業で目標が達成された事業 ・新規に計画された事業で目標がほぼ達成された事業
△	・継続事業で目標がほぼ達成された事業 ・新規に計画された事業で目標達成が不十分な事業
▲	・継続事業で目標達成が不十分な事業 ・新規に計画された事業で目標がほとんど達成されなかつた事業
●	・実施しなかつた事業又は目標がほとんど達成されなかつた事業

※新規事業は、継続事業よりも企画・調整・準備等に多くの時間・労力を要するため評価を高くしています。

### (2)評価基準

「(1)評価記号」の説明	達成値
「目標が達成された」	90%以上
「目標がほぼ達成された」	70%以上 90%未満
「目標達成が不十分」	50%以上 70%未満
「目標がほとんど達成されなかつた」	30%以上 50%未満
「実施しなかつた」	30%未満

### (3)目標達成の判断基準

- ◇ 事業が目標の趣旨に沿って行われたかどうか
- ◇ 予算執行が適切な時期までに行われたかどうか
- ◇ 会議、イベント等が適切な時期に行われたかどうか
- ◇ 年度当初に作成された実施計画等に予定された事業が実施されたかどうか
- ◇ イベント等の講師・指導者の選定が適切になされたかどうか
- ◇ イベント等の広報宣伝が適正になされたかどうか
- ◇ 会議、大会等の案内状の発送が適正になされたかどうか
- ◇ 参加率の向上のための手立てが適正になされたかどうか
- ◇ その他不適切な部分がなかつたかどうか

## 平成25年度事業 伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート

計画分類		主な事務事業			事業概要		主な成果等		評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当						
① 学校・家庭・地域の連携である家庭教育力の向上	1 伯耆町教育振興会事業・地域教育	1	伯耆町教育振興会事業・地域教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図った。 ・研究推進部 ・人権教育部 ・生活環境部 ・学校事務部 ・地域教育部 ・図書館教育部	地域教育部 ・学校と社会教育施設が連携し、夏期休業中の児童生徒を対象に、地域活動・体験活動事業を行った。 ・土曜授業の実施に向けた調査・研究を行った。 ・学校・家庭・地域の連携の強化充実 ・家庭教育を推進するための組織づくりや啓発活動の実施	継続事業はほぼ達成70%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上又は新規事業達成不十分50%以下	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上又は新規事業達成不十分50%以下	△
② 地域全体で子どもを育み、地域が学ぶ、仲間づくり	2 家庭学習の手引き配布事業	2	家庭学習の手引き配布事業	総務学事	小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣について、解説した「家庭学習の手引き」を小学校新入学生に配布した。	家庭での学習や生活習慣について望ましい姿を示す指標としての役割を果たした。 手引きの内容の見直しが必要	岸本小、八郷小に加えて溝口小、溝口中にも学校運営協議会を設置することとなつた。部会としての活動が充実してきており、委員が学校運営に参画していくとうる意識が高まつていてある。 学校経営方針についてより活発な議論ができるよう、情報をおみ分けして説明し、議題を具体化および焦点化すること。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	○
	3 学校運営協議会運営事業	3	学校運営協議会運営事業	総務学事	学校運営協議会制度(コミュニケーションスクール)を導入し、保護者・地域・学校が一体となつて、学校経営に参画し、地域に開かれ、地域に根差した学校づくりに取り組くむ。	①学校支援コーディネーターの各校配置 ②地域教育協議会の開催 ③実行委員会及びコーディネーター定例会の開催 ④学校支援活動の実施の普及啓発とボランティア募集及び養成 ⑤学校支援活動成績報告・交流会(2月)	学校支援活動は、充実してきたが、生徒の地域貢献が不十分である。公民館・保護者・教職員との連携が少しずつ進んでいるが、さらに発展させる必要がある。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	○
	4 学校支援地域本部事業	4	生涯学習		地域住民が教育に関心を持ち、学校の教育活動と交流の機会を提供し、確かな学力と人間力を向上させます。大人にとつても、新しい仲間づくり、生きがいづくりなど、地域の絆づくりに繋げる。	①学校支援活動の実施(451回、1,573延人) ②地域教育協議会の開催 ③実行委員会及びコーディネーター定例会の開催 ④学校支援活動の実施の普及啓発とボランティア募集及び養成 ⑤学校支援活動成績報告・交流会(2月)	高校生に交流の場を提供し、仲間づくりができた。さらに、ユースセミナー実行委員会を立ち上げて、今後の活動の素地を作ることができた。	○	新規事業目標達成90%以上	○
	5 高校生ユースセミナー	5	生涯学習		高校生が自ら事業を企画することで自主性、責任感を育て、他校の高校生と交流し、仲間づくり行い、地域で一緒に活動する高校生の育成を図る。	高校生が企画・運営ができるよう、更なる支援が必要。				

計画分類	主な事務事業				評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要
			岸本公民館		<p>・公民館主催共催事業を7回、公民館教室協力事業を10回実施。</p> <p>・新規事業は、お弁当クッキング①②、ハイキング、果箱作り、ふるさと探検。</p> <p>・継続事業は、ヨガ、大正琴、茶道、おもちゃや教室、鮎釣り、箏、英会話等。</p> <p>・指導者、支援者が少ない。</p> <p>・事業によっては、開催時期の検討が必要。</p> <p>・お弁当作りは年間を通して計画したいが、場所などの検討が必要。・公民館教室の協力事業は、参加者がいない事業でも継続して実施したい。</p> <p>・夏季休業中に8事業、冬季休業中に3事業実施</p> <p>事業実施に当たり、高齢者教室の学園生や公民館教室等、地域の方々に協力していただき、世代間交流の推進も図れた。</p> <p>事業によって参加者にムラがある。子どもたちの興味関心を喚起する工夫が必要。また、日本の伝統的文化を大切にし継承していくため、お正月の生け花や書初め教室は継続していく必要を感じた。単発でなく継続的・発展的な事業として取り組んでいきたい。</p>
			溝口公民館		<p>夏休みを中心に、公民館、学校、地域が連携し、子どもたちを対象に、自然体験、郷土学習、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図り、強くたくましく生きる力を持つた子どももの育成を図った事業企画にあたっては、町内の関係機関と調整し、保護者への案内も一つの冊子で行い、好評を得ている。</p> <p>「親子で学ぶ?今までしょ笑楽校事業」は、小・中学生と保護者等を対象に缶コーキ・カツブ麺・タラヨウの葉等出来る限り実物を使って、学技形式で算数・理科・社会等科目に分けて雑学から学び、学び知る喜びを感じてもらいたい。参加者16名</p> <p>・「あつい夏、水テッポウで遊ぼう事業」は、小・中学生を対象に自然にある竹でノコ・小刀等を使い水テッポウを作り、自然にある物で遊び道具が出来る事や、作る喜びや遊びを楽しむを感じてもらった。参加者11名</p> <p>・保育園児から大人までの参加があつたが、小さな子供の認知度に疑問がある。</p> <p>・笑楽校事業は、美物を樂めるのに苦労した。</p> <p>・刃物を使うにあたり、指導者の人数が足らなかつた。</p> <p>・協力者を増やし、受け入れ態勢を強化したい。</p>
			子供の体験活動事業(公民館)		
			二部公民館		

計画分類		主な事務事業				評価		
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等・改善方針等		
			日光公民館		世代間ふれあいセミナー：夏休み事業で、日光小以外の参加児童が増え交流が広がった。 ・春の植物観察と山菜試食会、星の観察会、絵画教室、日光小とのふれあい活動等8回 ・世代間ふれあいセミナー：日光小児童が減少する中、地域の世代間交流をどう進めいくかが課題 ・低学年から高学年まで発達段階が違う児童への適切な対応の検討	○ ○ ○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		7	子供の体験活動事業(学校)	総務学事務	各学校で独自の取組みを行っているほか、学校支援地域本部事業と連携し、地域の協力を得ながら、体験活動を実施している。 土学習・情操教育	学校における主な活動 ○作物・米・花の栽培 ○森林体験 ○地域の地理・生活文化等の学習 ○山菜取り ○スキーレッスンなど ・授業や学校行事として行うには限度がある。学校のニーズ、地域や家庭のニーズをマッチングさせた上で、土曜・休日や放課後における社会教育部門の取組みを充実させる施策が必要。	○ ○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
1-(2)	保・小・中の滑らかな接続	① 8	一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携改善 未来を拓くスクラム教育推進事業	総務学事務	学力向上を目的として、保・小・中の連携による、一貫性のある教育の推進方法等の研究先進地域として、平成23年度に本町の岸本中学校区が県から指定を受けたことに伴い、一貫教育に関する調査・研究を行った。(県補助は平成25年度まで)	保小接続カリキュラムの実践と検証、小中の単元系統表、国語・算数の能力検定の実施と検証、交流活動や乗り入れ授業などを実施した。 また、事業終了後も動ける組織が確立されたことにより、これまでの取り組みを精選し、修正しながら今後も連携しつつ一貫教育を進める柔軟性ができた。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		9	伯耆町教育振興会事業・研究推進	総務学事務	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び先機閣で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の児・学生教育の研究推進や地域の教育力向上を図った。 ・研究推進部会 ・生涯環境部会 ・学校事務部会 ・図書館教育部会	研究推進部 ・小中一貫教育推進に関する方針を作成した。 ・各校のモジュール学習の見学及び使用する教材の調査研究を行った。 今後の小中一貫教育カリキュラム作成に向けて、子どもに身につけさせたい資質・能力を示すことが必要。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類 施策 方針		主な事務事業			評価	
事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	主な課題・改善方針等
	10	伯耆町教育振興会事業・就学支援	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の児童・学生教育の研究推進や地域の教育力向上を図った。 ・研究推進部会 ・人権教育部会 ・生活環境部会 ・就学支援部会 ・学校事務部会 ・地域教育部会 ・図書館教育部会	就学支援部 ・保小中の交流活動の実施 ・子どもへの理解を深めるための事例研究会開催 ・子どもたちの交流の促進だけでなく、教職員も情報交換などで交流を深めることができた。 個別支援計画について更に理解を深め、各所属職員に周知する。	○ ○ ○
①(3) 確かな学知・德・体のバランスのとれた教育の推進	11	確かな学力定着促進事業	総務 学事	町教育の振興を図るため、教員の教師力向上や学校運営開発等の研修を行った。また、各学校の授業改革のための研修と夏期学力補充教室、家庭教師講演会等を行い、児童生徒の学力定着と保護者への家庭教育の大切さに関する意識づけを行った。	各校の研究内容に合わせ、大学教授等をスーザーバイザーとして、定期的に授業研究等を開催したり、学力補充教室を開催し、確かな学力定着に向けた取組みを実施した。 教員の資質向上に向け、継続的に授業研究等に取り組むことが必要	○ ○
	12	全国学力・学習状況調査事業	総務 学事	全国学力・学習状況調査の抽出校以外の学校においても、調査を実施することで、全国・県データとの比較検証を行い、児童生徒の学習指導の改善を図った。	各学校で調査結果の分析を行い、指導の成果と個々のつまづき等を確認し、学習指導の改善を図った。 ・調査結果を校内研究の指標として活用し、授業改革を推進すること。	○ ○
	13	教材・教具、教育備品及び教養施設整備事業	総務 学事	各学校における教材・教具・備品の整備を行って、多様化する教育に対応する。	岸本小、岸本中、溝口中のパソコン教室のパソコンを更新し、情報教育の環境を整備した。 今後も計画的な情報環境整備が必要	○ ○
	14	外国青年招致事業	総務 学事	岸本中学校と溝口中学校にALTを1名づつ配置し、生徒の英語能力の向上に資する。	各中学校にALTを配置して英語活動を支援する。また、公民館の英会話教室で講師を行なう等、地域における国際理解の啓発にも寄与。	○
	15	学校統合準備事業	総務 学事	△	ALT業務委託の検討	△
					小学校統合のための準備協議会設立に向け、保護者等の意見集約を行うとともに、その結果を報告した。また、集約結果を基に教育委員会では方針を検討し、H28年度一斉統合案を議会に説明・協議した。 統合年度の決定に至らなかつた。特別調査委員会中間報告に基づき、住民・保護者の理解をより深める必要	△

計画分類 施策 方針	事業方針 番号	事業名	担当	事業概要	主な事業		評価
					主な成果等 主な課題・改善方針等		
	16 運動部活動推進事業	総務事務		岸本中学校と溝口中学校のALTを、小学校の特別非常勤講師として配置し、児童の英語活動や国際理解の推進に寄与する。	岸本中:陸上部運動部活動地域連携再構築事業により県教委の委嘱を受けた外部指導者3名の派遣を受け、各中学校で専門的指導等を実施した。 △岸本中陸上部の指導者が、体調不良のため継続的な指導ができなかつた。外部指導者の人材発掘・養成。	△岸本中:陸上部運動部活動地域連携再構築事業は新規事業達成不十分以上	△継続事業は新規事業達成70%以上
17 特別非常勤講師配置事業	総務事務			各中学校にALTを配置して英語活動を支援するとともに、中学校区ごとに定期的に派遣し、英語活動の推進や国際理解教育を支援する。	ALT業務委託の検討	○ALT業務委託の検討は新規事業達成70%以上	○継続事業目標達成90%以上
18 伯耆町教育振興会事業・人権教育	総務事務			保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図った。 ・研究推進部会 ・生活環境部会 ・学校事務部会 ・人権教育部会 ・就学支援部会 ・地域教育部会 ・図書館教育部会	人権教育部 ・中学校区ごとに開催した人権研究大会の一本化を図った。 ・年間指導計画の策定した。	○人権教育部は新規事業達成70%以上	○継続事業目標達成90%以上
19 人権教育の推進	総務事務			教職員を対象に人権教育研修会等を開催し、児童・生徒への伯耆町の実態に照らした人権教育の推進を図った。	伯耆町転入教職員研修会 ・伯耆町人権教育研究大会 ・年間指導計画の様式を変更し、各校共通様式で計画を作成した。	○伯耆町人権教育研究大会は新規事業達成70%以上	○継続事業目標達成90%以上
20 青雲寮管理運営事業	生涯学習			溝口中学校生徒の冬期間の寮として使用していた青雲寮を、町内社会体育団体の会宿や通学合宿に利用するとともに、適切な施設の維持管理及び運用に努めた。	・全町開催となった研究大会の内容の充実 町内スポーツ団体及びPTAの合宿、通学合宿事業の場として活用した。	○町内団体が合宿する場としては、充分活用できる施設なので、施設管理の現状維持と利用促進が望まれる。	○継続事業目標達成90%以上
21 伯耆町教育振興会保健	総務事務			保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図った。 ・研究推進部会 ・生活環境部会 ・学校事務部会 ・人権教育部会 ・就学支援部会 ・地域教育部会 ・図書館教育部会	生活環境部学校保健部会) ・正しい生活習慣を身につけることの重要性をCATVを利用して啓発・周知した。 ・食育等に関し保・小・中で共通の取組を行い、生活リズムや食育の推進に寄与した。 ○保・小・中の連携事業の継続・充実	○生活環境部学校保健部会)は新規事業達成70%以上	○継続事業目標達成90%以上

計画分類 施策 方針	主な事務事業				評価
	番号	事業名	担当	事業概要	
22 栄養教諭による食指導		給食センター		学校栄養教諭1名、要望による加配職員1名の計2名で栄養指導を行い、学校給食を通じて食育の推進を図った。	食事の楽しさ、食事の大切さを指導した。また、生産食に地元食材を使用したり、各学校と児童との交流、食材に対する感謝の気持ちは育まれた。食育の日や給食週間を中心に行なった。○加配職員がなくなった場合の食育、栄養指導等について、対応の検討が必要。
23 学校給食施設運営事業 管理		給食センター		安心・安全な学校給食を提供するため、給食センターの適切な管理を行った。また、老朽化・損傷した備品の更新を行なうなど、安定的な給食提供体制の維持を図った。	○各種細菌等検査の実施 ○清掃・衛生の徹底など ○冷凍庫、ガス回転釜など老朽備品の更新 ○年間給食配数182,924食 ○食物アレルギーの児童生徒への対応方法等について、調査研究中。
24 学校給食費補助事業		給食センター		給食費の保護者負担を軽減するため、これまで1食につき10円の補助額を30円に増額する。なお、補助単価の増額額に伴い、24年度に実施した東日本大震災による米面の高騰に対する補助は廃止。	○保護者負担の軽減と安定的な給食の供給が図られた。補助額4,987,612円 平成26年度から消費税増税及び物価上昇に伴い、26年度から補助金を更に見直し、1食30円から50円に増額し、一層の保護者負担の軽減を図ることとした。
25 食材供給連絡協議会との連携		給食センター		伯耆町内の農業生産者で構成する、組織である食材供給協議会と連携しながら、伯耆町産の食材使用に努めた。	○協議会との調整会議を月1回開催 ○伯耆町産使用率57.1%(前年度58.6%) ・町内産のみで賄っている主な食材 米、味噌、かぼちゃ、なす、干し椎茸、鶏卵、りんご、梨、メロン ・町内生産者の拡大を図ることとした。 ・協議会会員の高齢化等に伴い、会員数が徐々に減少。町内生産者の縮少を図ることが必要。
② 発達段階に応じた、きめ細やかな指導体制の充実	26 スクールソーシャルワーカー活用事業	総務 学事		いじめや不登校など児童生徒の問題行動を環境面から解決するために、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係者・関係機関が協力して、児童生徒の抱える課題解決にチームで取り組む。	○社会福祉士資格者2名と教員OB1名をSSWとして配置 ・対象事業 小学生35名、中学生30名 ・ケース会議 教職員:21回、関係機関会む:47回 ・SSWとSC、教職員の連携 ・SSWと関係機関との連携

計画分類		主な事務事業				評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	
		主な成果・改善方針等				
27	特別支援教育事業 支援員配置支業	八郷小学校(2名)、八郷小学校(1名)、溝口中学校(1名)に配置し、学習指導の充実や安定した学級運営に寄与した。 ・配慮をする児童生徒の増加に対応するための支援員の確保	岸本小学校(2名)、八郷小学校(1名)、溝口中学校(1名)に配置し、学習指導の充実や安定した学級運営に寄与した。 ・配慮をする児童生徒の増加に対応するための支援員の確保	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業(ほぼ達成70%以上)	
28	教育支援センター運営事業	溝口体育館内に設置した教育支援センターにおいて、不登校等の児童生徒への学習支援や生活指導を行つた。また、はじめや友人関係などの悩みを抱える児童生徒・保護者の相談活動を行い、不登校・問題行動等の未然防止を図る。	・通級生徒 中学生1名 -学習指導員1名、相談員3名配置 -第2・4火曜日に定例会を開催し情報共有を図つた。 -該当生徒中学校、保護者との連携を図つた。 -通級生徒がしない時に、学校へ出向き不登校傾向児童生徒の支援を行うなど、支援センターの活動の拡充の検討が必要。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業(ほぼ達成70%以上)	
29	少人数学級実施事業	平成25年度から小中全学年30人学級の実施で、よりきめ細やかな教育を推進する。また、二部小学校については、教員の加配により複式学級を一部解消。	○岸本中学校 1年(2→3学級)、2年(2→3学級)、3年(2→3学級) ○溝口中学校 1年(1→2学級)、2年(1→2学級)、3年(1→2学級) ○岸本小学校 3年(1→2学級) ○二部小学校 4・5年(複式解消)	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業(ほぼ達成70%以上)	
30	少人数学級を活かす学び創造事業	少人数学級の利点を活かして、小中学校等が授業改革に取り組み、研究実践することで児童生徒の学習意欲の向上や学びの質の向上に努める。(H24～H25)	・少人数学級実施の効果について指標を検討。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業(ほぼ達成70%以上)	
31	就学援助事業 (要保護、準要保護)	生活保護、生活保護に準ずる者、非課税、母子家庭の申請が半数以上を占める(34/54世帯)。 ※区域外就学者の申請は、町外からの越境3世帯6名(学用品(給食費のみ支給)、町外への越境2世帯4名(学用品のみ支給))。 世帯分離の事実確認方法の検討	25年度認定:95名(54世帯、全児童生徒の11.3%)	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業(ほぼ達成70%以上)	

計画分類		主な事務事業				評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な課題・改善方針等	
	就学援助事業 (特別支援教育 就学奨励金)	32	就学援助事業 (特別支援教育 就学奨励金)	総務 学事	特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援することで金銭的負担を軽減し、義務教育の遂行を支援する。	25年度認定：14名（14世帯） ※世帯の収入・世帯員によりⅠ～Ⅲ区分に分ける。なお、区分により支給対象経費が異なる。 ※支給額は、要保護・準要保護の2分の1程度。	○ ● 繼続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	中学校区の児童生徒を語る会	33	中学校区の児童生徒を語る会	総務 学事	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止の協議を行った。	○中学校区児童生徒を語る会の開催 小中学校担当教員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、指導主事等が参加 ・岸本中学校区 各学期2回開催 ・溝口中学校区では、実施できなかつた。	○ ● 繼続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	就学支援検討会	34	就学支援検討会	総務 学事	小中学校就学について、支援が必要だと考えられる子どもに対して、関係機関が連携し、環境を整備することによって就学後の学校不適応などの2次障害を防止する。 (教育委員会・健康対策課・福祉課・保健所・学校等で構成)	①5歳児健診での観察及び相談 ②関係機関による連絡会議の実施 ③対象児の観察会 ④個別の就学支援検討会の実施 ※25件の事案について対応・支援 ⑤伯耆町「個別の支援計画」書式を作成し、個人ごとに応の充実を図つた。 ・「個別の支援計画」の活用の推進	○ ● 繼続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	家庭教育支援事業	35	家庭教育支援事業	生涯 学習	家庭の教育力の向上や子どもたちがマナー・自立心等を身につけるための支援を行う。	①家庭教育講演会の開催(7月) ②保小中学校での家庭教育講演会の支援 ③子育て・家庭教育連絡会(家庭教育支援チーム)の実施。 ④県フアリーティー養成研修会参加(認定4人)	○ ● 繼続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
-⑷ 安全安心で質の高い教育環境の整備	教員の資質向上と一人の子供一人の教員が向き合つた環境の整備	36	学校管理職、中堅教職員研修会	総務 学事	学校運営の一層の充実・改善を図るために、実学校管理職・中堅教職員を対象に研修を実施。	管理職、中堅教員、学校関係者評議委員を対象に、各中学校区ごとに学校運営発展研修会を実施した。各学校の学校評議会のプロセスと成果と課題について実践を紹介することで、情報共有を図つた。 学校評議の報告に關わる負担感を軽減すること。	○ ● 繼続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	学校図書整備及び図書配置	37	学校図書整備及び図書配置	総務 学事	各小中学校に司書教諭補助職員を配置し、各学校図書館を利用した学習の充実や子供たちの読書活動推進に寄与した。	学校図書館職員を全校に配置し、学校図書館運営管理、児童の調べ学習支援などを行った。 図書教諭と図書館職員の共通理解の場を定期的に設けること。	○ ● 繼続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		事業方針		番号	事業名	担当	事業概要	主な事務事業	主な成果等	評価	
施策	方針	事業	方針					主な課題・改善方針等			
		38	教職員研修会 (全教職員対象)	総務学事	学校教育の諸課題に対応できるよう教職員の資質向上を図るために実施した。		教職員悉皆研修として実施 講演「SSWの視点からの生徒指導・保護者支援について」ほか ①町教育「伯耆町型小中一貫教育への期待と留意点」 講演「伯耆町型小中一貫教育への期待と留意点」 ②教師力向上研修会 1月6日 ほか 教職員が参加しやすくするために、他の出張等をできるだけ遅けるなど日程調整が必要	①校内授業研究会指導助言(各校の研究課題の指導助言、教職員の指導方法の改善に寄与) ②学校随時訪問(「学校教育の成果と課題」を活用。各校の授業力向上及び学校運営の活性化に寄与) ・各校の授業研究会等の期日が重なり、全ての学校の研究会に参加することは難しい。	①町教育「SSWの視点からの生徒指導・保護者支援について」ほか ②教師力向上研修会 1月6日 ほか 教職員が参加しやすくするために、他の出張等をできるだけ遅れるなど日程調整が必要	○	
		39	学校要請訪問、学校随時訪問	総務学事	各学校の校内授業研究会での指導助言や授業参観・授業評価及び学校長への指導助言を目的として学校訪問を実施。		保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の児童・学生教育の研究推進や地域の教育力向上を図った。 ・研究推進部会 ・生活環境部会 ・学校事務部会 ・図書館教育部会 ・保健室 ・総務部会 ・人権教育部会 ・就学支援部会 ・地域教育部会	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の児童・学生教育の研究推進や地域の教育力向上を図った。 ・研究推進部会 ・生活環境部会 ・学校事務部会 ・図書館教育部会 ・保健室 ・総務部会 ・人権教育部会 ・就学支援部会 ・地域教育部会	保・小・中の職員全員を対象にした研修・研究大会等を開催し、教職員の資質向上、連携強化が図られた。 ○研究大会 7/31(改善センター) 実践発表及び講演会 ※教職員研修会を兼ねて実施 ・各校の教育施策推進と教員の多忙化解消に向けた、事業の精選が必要である。	保・小・中の職員全員を対象にした研修・研究大会等を開催し、教職員の資質向上、連携強化が図られた。 ○研究大会 7/31(改善センター) 実践発表及び講演会 ※教職員研修会を兼ねて実施 ・各校の教育施策推進と教員の多忙化解消に向けた、事業の精選が必要である。	○
		40	伯耆町教育振興会事業研修会	総務学事			生活環境部(生徒指導部会) ・不登校児童生徒に関する事例研究開催 ・各校生徒指導主事による情報交換会の実施 LINE等情報関係機器・ソフトに関する研修が必要	生活環境部(生徒指導部会) ・不登校児童生徒に関する事例研究開催 ・各校生徒指導主事による情報交換会の実施 LINE等情報関係機器・ソフトに関する研修が必要	生活環境部(生徒指導部会) ・不登校児童生徒に関する事例研究開催 ・各校生徒指導主事による情報交換会の実施 LINE等情報関係機器・ソフトに関する研修が必要	○	
		41	伯耆町教育振興会事業・生徒指導	総務学事			①学校計画訪問 各小中学校1回 ②行事訪問 運動会、学習発表会、入学式、卒業式等 ③講師訪問・本務者訪問 学校に過剰な負担とならない計画訪問の仕方の検討	①学校計画訪問 各小中学校1回 ②行事訪問 運動会、学習発表会、入学式、卒業式等 ③講師訪問・本務者訪問 学校に過剰な負担とならない計画訪問の仕方の検討	①学校計画訪問 各小中学校1回 ②行事訪問 運動会、学習発表会、入学式、卒業式等 ③講師訪問・本務者訪問 学校に過剰な負担とならない計画訪問の仕方の検討	○	
		42	学校計画訪問、行事訪問、本講師訪問、本務者訪問	総務学事							

計画分類		主な事務事業			評価	
施策方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等 主な課題・改善方針等	
② 安全安心で質の高い教育環境の整備	43	小学校施設修繕事業	総務学事	小学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備した。	損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 八郷小: 小荷物専用昇降機修繕等 二部小: トイレ修繕・プールポンプ修繕等 日光小: 网戸設置・ランチルーム床修繕等 設備関係の計画的な修繕の実施。	
	44	中学校施設修繕事業	総務学事	中学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備した。	損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 岸本中: 体育館照明修繕等 溝口中: トイレ修繕等 設備関係の計画的な修繕の実施。	
	45	中学校備品(机・椅子)整備事業	総務学事	中学校生徒用の机・椅子を更新し、学習環境の充実を図った。 科書等がIB5からA4に変更されたことに伴い、町内中学校の机・椅子を更新する。	町内中学校の生徒用机・椅子を更新し、学習環境の充実を図った。 H25年度完了	
	46	小学校施設耐震化等事業	総務学	岸本小学校前校舎の耐震補強・大規模改修等を行った。	岸本小学校前校舎の耐震補強・大規模改修及び太陽光パネル設置完了 H25年度事業完了	
	47	中学校施設耐震化等事業	総務学事	岸本中学校、溝口中学校の校舎等の耐震補強・大規模改修等の詳細設計及び岸本中学校改修等工事を行った。	岸本中の校舎改修・太陽光パネル設置完了 ・溝口中の体育館耐震補強・プール改修完了 ・溝口中校舎耐震補強等工事着手(H26年度継続) 平成26年度事業完了予定	
	48	学校安全管理事業	総務学事	小学校において、実践的な事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全管理体制を整備するためにスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行った。	中学校区ごとにスクールガード・リーダーを配置。定期的に学校・通学路等の巡回・指導等を実施した。 平成26年度事業完了予定	
	49	伯耆町教育振興会事業・学校事務	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び各委員会を出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の児童・青少年の教育向上を図った。 や地域の教育力向上を図った。 ・研究推進部会 ・生活環境部会 ・人権教育部会 ・就学支援部会 ・地域教育部会 ・学校事務部会 ・図書館教育部会	学校事務部会 ・物品や情報の整理整頓の推進による「見える化」に取り組み、事務処理等の効率化を図った。 ・学校収金の取り扱いについて、共通取扱いガイドを作成・運用を行い、会計の適正処理を推進した。 見えら化を職員のみならず、児童生徒や保護者に拡大し、情報発信を教科ごとする。また、教材採択に関する情報共有等の研究が必要	

計画分類 施策 方針	主な事務事業				評価
	番号	事業名	担当	事業概要	
主な課題・改善方針等					
2-(1) 生涯を通じて 学ぶための 環境の整備	① 生涯学習の 推進	生涯学習 地区公民館の 連携	生涯 学習 地区公会(各館長と生涯学習室職員が参加)を開催	生涯学習室と各公民館で定例会を開催し、行事内容の打合せや業務内容などの相互調整により、業務の連携を図った。(毎月1回開催)	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
50	図書館管理事 業	図書館	図書館関係部門の連携を強化するため、公民館定例会(図書館長と図書館職員、生涯学習室職員が参加)を開催	生涯学習室と図書館の職員でで定例会を開催し、行事内容や業務内容の相互調整により、業務の円滑化と広報活動の充実を行った。(毎月1回開催) また、図書館業務運営方針を作成	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
51	図書館振興事 業	図書館		業務実施体制の一層の充実を図る。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
52				・子育て支援一ブックスタート12回(58名に実施)ブックセカンド34回(108名に実施)おはなし会43回(2,085名に実施) ・学校支援一巡回便38回(4,347冊の配送)朝読書や出前おはなし会を74回(1,274名に実施)、高校生中学生の職場体験の受入。読書推進一テーマを設けた展示(7×12回)スペシャルおはなし会、DVD上映会、ミュージックパネル「えんどうまめ劇場」、公民館高齢者教室への出前図書館など ・図書館職員、学校図書館職員の資質向上、スキルアップ研修や視察の実施。(ほかに)登録者推進月間の実施。※H25年度図書貸出冊数81,279冊(対前年124%増)、図書館協議会3回、H25.8月より制限貸出冊数10冊へ増冊	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
53	伯耆町教育振 興会事業・図 書館教育	総務 学事		利用者のニーズに応えるという図書館サービスだけでなく、人づくりの親しみやすく、かつ開放的な施設として、町民の方々にサービスを提供した。特に子供たちの読書活動の推進や利用しやすい環境づくりに向けた各種事業を行った。	○ 月末図書整理日が土曜、日曜日と重なることが多く、利用者に迷惑をかけた。館長の判断で改善を必要があつた。 ・子どももの読書推進計画の作成
				保育所、小中学校、教育委員会事務局及び先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の児童・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図った。 ・研究推進部会 ・生活環境部会 ・学校事務部会 ・図書館教育部会 ・人権教育部会 ・就学支援部会 ・地域教育部会 ・図書館教育部会	図書館教育部 ・合同研修会の開催によりスキルアップが図れた。 ・「学び方指導」「図書館・情報活用学習年間計画」を作成に着手 ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類 施策 方針 事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な事業事業 主な課題・改善方針等	評価
	54	生涯学習まちづくり推進事業	生涯学習	生涯学習に關する各種学習情報や発表の場を提供することで、生涯学習への参加を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CATV、町広報等を活用しての情報提供、学習相談</li> <li>[ほうき生涯学習ニュースの発行(毎月)</li> <li>・伯耆町HPで生涯学習に関する催し物、情報提供</li> <li>生涯学習事業の活性化のために、現在の生涯学習に対するニーズと情報提供提供的方法が適当であるのか検討が必要である。</li> </ul>	<p>○ 繼続事業目標達成90%以上又は新規事業[ほ達成70%以上</p>
	55	鬼の館運営事業	生涯学習	本町の文化拠点として、文化に直接触れる機会の提供、各種団体の研修や町内サークル等の発表の場として文化団体の支援・利用促進及び施設の維持管理を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>舞台の吊りもの点検、音響・卓盤等の点検を行い施設設備の維持に努めた。</li> <li>・町民音楽祭や公民館合同発表会、溝口中文化祭などを行ない文化振興に寄与した。</li> <li>・鬼面太鼓の練習会場として提供した。</li> </ul>	<p>○ 繼続事業目標達成90%以上又は新規事業[ほ達成70%以上</p>
	56	青年の家事業	生涯学習	青年の家を維持・管理及び壁紙の張り替え等を行い、社会教育の場として提供することにより、社会教育の促進を図った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館教室、放課後児童クラブの活動に施設を利用することでの効活用を図っている。</li> <li>放課後児童クラブの部屋を除き、建物が老朽化しているので、施設管理においては計画的な修繕が必要である。</li> </ul>	<p>○ 繼続事業目標達成90%以上又は新規事業[ほ達成70%以上</p>
	57	社会教育主事資格取得の育成	生涯学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資質向上のため各種研修会に参加</li> <li>・25年度は社会教育主事資格取得の該当者なし</li> <li>・生涯学習事業の質の向上のため、多くの住民を巻きこめるようにコーディネート力の向上が必要である。</li> </ul>	<p>○ 繼続事業目標達成90%以上又は新規事業[ほ達成70%以上</p>
	58	高齢者教室交流事業	生涯学習	各公民館の高齢者教室合同研修会の開催により、日頃の学習成果の発表を行なうと共に、相互の親睦と交流を深めた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者教室合同研修会・発表会開催7月12日 鬼の館(169人参加)</li> <li>アンケート結果では、よかつたという感想が70%である。がんばっている高齢者の姿を見ると励みになるという方が大変多かった。</li> <li>・高齢者教室文集作成 町内4公民館の高齢者学級生が寄稿し、文集「たいせん」を作成した。(360部)</li> <li>・高齢化が進んでおり、発表会の出演団体、文集だいせんの執筆者が年々減少している。</li> </ul>	<p>○ 繼続事業目標達成90%以上又は新規事業[ほ達成70%以上</p>

計画分類 施策 方針	主な事務事業				評価
	番号	事業名	担当	事業概要	
		岸本 公民館		<p>・松栄学級(高齢者学級)10回開催、学級生73名、延べ471名出席。・成人講座「ごま豆廣り」「手作り教室」等計7回実施、参加者延べ107名・新規に「家庭教育支援講座として、「魔法の板」カブラで遊ぼう！」を開催し、親子のコミュニケーションを図った。参加者58名</p> <p>・会員数が減少し高齢化も進んでいるし、男性の参加者が少ないので、会員数を増やすように、楽しく体験できる事業などを検討。</p> <p>・松栄学級は役員の選出基準を新たに設ける。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		瀬戸 公民館		<p>・貴寿美学園(高齢者教室)町内外研修、計14回開催延べ457名参加。貴高齢者の学びの場を提供し、生きがいや健康づくりと合わせ、他の公民館との交流促進を行った。参加者へ研修ごとにアンケートで振り返りを行い、研修内容の評価を実施した。</p> <p>近年、学園生が高齢化し、新規入会者が少ないと会員の減少傾向が続いている。入会を促す情報周知・広報が必要。学園生や住民のニーズを捉えながら、学びの多い研修にしていく必要がある。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
生涯学習支援事業(各種教室の開催)	59	二部 公民館		<p>・多々楽学園(高齢者学級)9回 延べ217名</p> <p>・女性学級 4回 延べ40名</p> <p>・生涯学習事業:菊作り、男の料理教室、ヘルシー料理講習会</p> <p>・ハロウインおばけかぼちゃ灯篭作り等の事業を開催し、子育てサークル支援と公民館行事への参加促進に努めた。参加者27名</p> <p>・新規会員の募集や発掘が必要がある。 ・内容等充実し出席率を上げる必要がある。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		日光 公民館		<p>・日光学園(高齢者学級)9回開催 学園生33名</p> <p>・自治会の計画による事業推進で、学習意欲が向上するなど学級(地域学習):先進地視察、料理教室、日光歴史話等講座6回開催、白水川清調査2回</p> <p>・日光学園:学園生の固定化、高齢化に対する手立てがある。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類 施策方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な事務事業	主な成果等 主な課題・改善方針等	評価
②生涯スポーツの推進	60	社会教育員及び図書館委員会	生涯学習	社会教育並びに図書館事業の推進のため に法に基づく委員会を委嘱し、社会教育施策 等について、事業計画・事業実施結果等の 説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業 の見直しなどを行う。	社会教育実践道場(7/5) 伯耆町合同研究協議会(11/14) その他研修会へも参加いただいた。	社会教育委員会兼図書館協議会(年3回)	○ 繼続事業目標 達成90%以上又 は新規事業ほ り達成70%以上
61	スポーツ推進審議会事業	総合スポーツ公園		教育委員会のスポーツに推進に關する事項について研究 の協議を行う。	より多くの情報を提供し、研修会への参加を促し、知見 を深めてもらい、より多くの提言をいただきたい。	町民や関係団体を対象としたアンケート調査を実施し、 結果等を参考にしスポーツ推進計画案及び答申案の 作成に向け、25年度は3回の審議会を開催した。 平成26年3月計画策定	○ 新規事業目標 達成90%以上
62	スポーツ推進委員事業	総合スポーツ公園		委員会を委嘱し、町内のスポーツ振興・普及を 図る ・町内体育行事の運営・協力 ・生涯スポーツの指導・普及啓発 ・総合型地域スポーツクラブの運営	・今後の計画の進行管理 ・取組体制強化と関係団体との連携強化	・郡、県、研修会等に参加し指導委員としてのスキル アップが図られた。(年4回) ・町の体育行事等運営協力のほか、「まうきスマイルー ースポーツクラブ」事業の企画・運営を行った。 ・研修で学んだ内容を実践できる企画の検討 ・スポーツ推進委員の認知度アップ対策	○ 繼続事業目標 達成90%以上又 は新規事業ほ り達成70%以上
63	スマイリースポーツクラブ支援	総合スポーツ公園		スポーツを通じて地域住民の健康新進・技術 体力向上を目的とする総合型スポーツクラブの運 営に必要な経費について補助金を交付し、 活動動を支援する。	各種スポーツ教室3事業、大会等6事業及び町内保育 園やPTAなどへの指導者派遣を50回以上実施し、住 民の体力向上やレクリエーションの普及に寄与した。ま た、ジュニアクラブとの連携により、多くの子どもたちに 多様なスポーツに触れる機会を提供した。	・クラブ運営についての検討(法人化等) ・会員増加に向けての企画立案。 ・町民への認知度を向上させるための広報活動。 ・指導者の確保及び指導者研修の充実	○ 繼続事業目標 達成90%以上又 は新規事業ほ り達成70%以上
64	各種スポーツ団体補助事業	総合スポーツ公園		伯耆町ゲートボール協会並びに伯耆町グラ ウンドゴルフ協会活動経費の一部を補助す る。 ※町大会運営や都、県大会等さまざまな大会に参加されている。	生涯スポーツの普及振興また高齢者の健康や体力維 持に寄与することができた。	今後も生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがい の場を提供できるよう、継続的サポートが必要	○ 繼続事業目標 達成90%以上又 は新規事業ほ り達成70%以上

計画分類 施策 方針	主な事務事業			評価	
	番号	事業名	担当		
65 伯耆町体育協会補助事業	総合スポーツ公園	所属各部の運営、町スポーツ大会の開催等・専門部運営補助(8団体)・市民対象のスポーツ大会開催(8事業)・スポーツ優秀賞・功労賞の表彰・郡体、県民スポーツ大会参加	少年卓球大会が事情により中止になつた以外は、各大会とも大きな事故もなく予定通りに開催することができた。町民スポーツ活動の中心組織として、年間を通してスポーツ活動、大会運営に寄与した。 ・体協表彰(功労賞個人1名、優秀賞個人14名、団体4) ・県民スポーツレク等各種競技大会へ参加	○ ・体協組織や運営方法についての検討協議が必要 ・参加者の増に向け、開催内容や参加基準について各部において見直や検討が今後も必要。	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
66 伯耆町駅伝	総合スポーツ公園	旧溝口町から実施されている1チーム5名による駅伝競走大会である。地元の絶大な協力をいただきながら、役員や参加者が一體となって運営されている地域に密着した大会として開催。	今年度は48チームが参加して事故もなく盛大に実施することができた。	○ 日光地区での開催は景色もよく、地元住民の要望もあるが、時期的に道路の交通量が多く安全面での問題がある。安全対策とともに、場合によってはコースや会場の変更も視野に入れた検討が引き続き必要	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
67 オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆補助事業	総合スポーツ公園	全国の小学生を対象にトライアスロン競技を開催するための事業費の一部を助成する。	平成25年8月18日開催 大会エントリー者数は241名で昨年より38名減であったが、県外参加者は昨年とほぼ同数であった。また、計測方法も昨年より自動計測機の使用によりトラブルもなく終了した。	○ 平成26年度は第20回大会となり記念大会として開催するため、事業内容や予算についての検討が必要	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
68 町内体育施設管理運営事業	総合スポーツ公園	町内の社会体育施設である体育館・武道館・町民グランド・総合スポーツ公園・すこやか村や溝口中学校夜間グラウンド施設等の管理運営を行った。	各施設利用者数(前年比較)中学校部活利用率は除く・社会体育施設(町体育館・町武道館・町グランド) 30,339人(-1,604) ・総合スポーツ公園 40,007人(+3,161) ・社会体育施設は昨年と比べると若干減少したが、スポーツ公園施設はB&G体育館・多目的グランド、ラグビー場・野球場の利用団体及び利用者数が増加。 ※施設管理機材購入 ・コートローラー(乗用転圧機) ・ブロードカスタ(肥料散布アタッチメント) ・マイティレイキ(グランド整地用アタッチメント)	○ ・施設管理機材保守点検 ・利用者への利用時間の厳守・利用後の施設清掃等の指導の徹底。	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業				評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	
	69 体育施設改修事業		総合スポーツ公園	岸本公民館	快適な環境で運動きるよう体育施設の修繕等を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民グラウンドグラバーボール支柱立金具取替</li> <li>・岸本体育馆バーボール足洗い場改修</li> <li>・海洋センター プール足洗い場撤去</li> <li>・ラジコン操作台撤去</li> <li>・公園遊具修繕</li> <li>・施設の老朽化等に伴う施設の点検の実施</li> <li>・施設管理办法(主に芝生管理)の研究実践</li> <li>・施設管理機材の保守点検</li> </ul>
	70 その他イベント開催事業		溝口公民館		町民運動会・岸本地区大会を10月6日に開催し、26集落が参加。 ・大会実施後に実行委員会を開催した。 ・実際に必要な役員の教や、物品の把握が必要。 ・大会実施後の実行委員会で検討された事項を翌年度の大会に生かす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</li> </ul>
			二部公民館		町民運動会溝口地区大会 10月13日実施 溝口地区の町民のスポーツの中心的事業として開催。健康増進・交流に寄与できた。関係者にアンケートをとり、実行委員会で来年度に向けての検討を図った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</li> </ul>
			日光公民館		課題解決に向けて、実行委員会で引き続き検討していく。リレーの年齢区分、地域性のある種目の創設等が課題として挙げられた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</li> </ul>
					二部地区運動会10月6日実施 二部マラソン・11月10日実施 二部地区活性化推進機構の協力により、二部地区の市民・総スポーツの中心的事業として開催し、健康増進・交流に寄与できた。他にグランドゴルフ大会、2回のカラーリング大会、健康ウォーキング開催運動会について、自主的参加の促進と少子高齢化に対応する競技内容の検討が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</li> </ul>
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・伯耆町駅伝:10月14日開催 参加選手にりんご、応援の方にも日光女性会の協力により、豚汁約800食振舞い好評であった。</li> <li>・町民運動会日光地区大会:10月20日開催 雨天のため体育馆で開催、和気藹々の中、健康増進が図れた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</li> </ul>
					地区運動会:選手、役員集めはスムーズに進んだ。	

計画分類 施策 方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な事業 主な課題・改善方針等	評価
①町全体で取り組む青少年の健全育成	71	青少年育成伯耆町民会議運営	生涯習	地域全体で青少年の健全育成の推進を図ることを目的に、町民会議を支援し各種事業を行った。	・委員会及び部会(1回)の開催 ・青少年育成伯耆町民大会の開催(1月25日) ・青少年会開催及び派遣研修会いさつ運動の実施(4回) ・町民あいさつ運動の実施(6回) ・高校生マナーアップさわやか運動への参加(4回) ・夏休み内巡視の実施(6回) ・「家庭の日」懇話の募集(応募数228点) ・高校生ユースセミナー(11/9～10、2/2)など 事業内容の見直しを行い、町民会議委員及び多くの町民に関わってもらえる方策を検討する必要がある。	○ 継続事業目標達成90%以上 は新規事業ほぼ達成70%以上
②(2)	72	成人式	生涯習	明日の伯耆町を担う若者たちが、社会人として新たなスタートを切る節目に、成人を祝福激励する記念式典を開催する。	とき:8月15日/新成人出席者114人 出席率75% ところ:鬼の館 ・記念品贈呈・記念講演・記念撮影 記念品及び記念写真の内容等の検討や実施方法など、出席者の増加につながる検討が必要である。	○ 継続事業目標達成90%以上 は新規事業ほぼ達成70%以上
③	73	夏休み自然体験キャンプ事業	生涯習	自然体験活動を通じて、社会生活における規律や共同意識を助長し、心豊かな人間性の育成に努めた。	とき:8月7日～9日(2泊3日) ところ:ふれあいの森キャンプ場(伯耆町丸山) 参加者:小学生15名 ボランティア:中高学生10名、大学生3名、一般1名 同様な事業があるため、事業間の調整が必要	○ 継続事業目標達成90%以上 は新規事業ほぼ達成70%以上
④	74	通学合宿事業	生涯習	「青雲察」で子ども達が共同生活を行なうながら通学することにより、子ども達の協調性や社会性を高めるとともに、親への感謝の気持ちを養うよう努めた。	とき:10月 6日～12日(A班)19名 10月20日～26日(B班)21名 ところ:津口中学校 寄宿舎(青雲寮) 実施スタッフの確保が困難であり、今後の実施を含めて他事業との調整を検討する必要がある。	○ 継続事業目標達成90%以上 は新規事業ほぼ達成70%以上
⑤	75	読谷村教育交流	生涯習	沖縄県読谷村と伯耆町の子どもの交流を通じて、それぞれの伝統文化に触れるとともに、子どもの健全育成に寄与する。	これまで自治会同士の交流として行っていたものを、伯耆町と読谷村が協定を締結することで、交流を継続化を図り、一層の充実・発展が期待できる。 H25.4 津口中学校修学旅行で読谷村訪問 H26.1 読谷村・伯耆町教育交流協定を締結 H26.2 渡慶次子ども会23名来町 スキー・文化交流活動について、住民へ情報提供・周知するとともに、民泊先の確保にあたり住民の一層の協力が得られるようにする。	◎ 新規事業目標達成90%以上

計画分類	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な事務事業	主な成果等	評価
2-(3) 人権尊重のまちづくりの推進	① 人権教育・人権啓発の推進	76	人権同和対策事業	人権政策	人権に関する取り組み活動を行う団体の支援、連携した事業の実施、啓発などの人権に関係した事業を行った。	・人権教育推進員配置 ・各種人権週間広報活動(町広報・CATV・HP・防災無線・懸垂幕) ・各種研修会開催 ・各種団体支援	・人権教育推進員配置 ・各種人権週間広報活動(町広報・CATV・HP・防災無線・懸垂幕) ・各種研修会開催 ・人権同時問題実践交流会(11月24日)参加者200人 「ひまわりセミナー」10回 延べ参加者数400人 セミナーでは各種人権問題を学習した。人権に関する諸問題を身近に感じる機会として講演等開催、今後の実践に向けた啓発推進を行った。 ・人権啓発標語の募集 応募数841作品	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	77	人権教育推進事業	人権政策	人権教育推進	人権教育推進を目的に、人権教育推進員を配置し、人権に関する諸問題を学び・理解していただいたための各種事業を行った。	今後も、継続的な学習を通して人権問題に関する気づきを引き出し、一層の理解の浸透に努める。	・明るいまちづくり懇談会 町内44会場 参加者685人 全体会研修会2会場 参加者118人 ・人権啓発標語入選作品を掲載した人権カレンダーの作成・全戸配布 ・各種人権関係大会、研修会派遣 ・人権だよりの作成・全戸配布	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	78	人権教育・啓発推進協議会補助金	人権政策		伯耆町人権教育・啓発推進協議会の運営・活動を支援するとともに、各種事業を開催し、人権教育・啓発の推進を行った。	人権カレンダーの作成配布につき、町発行の他のカレンダーとの調整を検討する必要がある。	男女共同参画型社会を形成するため、次の事業を行つた。住民へのPR・啓発や役場職員等を対象とした研修会等を行つた。 ・広報、ホームページ、懸垂幕等による啓発・PR。 ・審議会委員、町職員の研修会への参加。 各種事業所を交えた研修を行い、男女共同参画について相互に知識を深めることができた。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	79	男女共同参画推進事業	人権政策		家庭並びに社会生活における活動等への男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画推進計画を基に、各種事業を実施した。			

計画分類		主な事務事業				評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等 主な課題・改善方針等	
	80 町営住宅修繕事業	80	町営住宅修繕	人権政策	老朽化が進行する町営住宅の修繕を行い、住環境の充実を図った。	老朽化に伴い町営住宅の修繕を実施。本年度は、経年劣化による壁・床修繕・ボイラーチェンジ等を実施。今後も老朽化に対応した計画的修繕を継続し、住環境を維持していくことが必要。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	81 文化センター運営事業	81	文化センター	文化センター	人権問題の解消と啓発に向けた事業の実施や地域住民の自立と、よりよい生活を図るために文化センターの核として活動に取り組んだ。	- 地区進出学習会 小学生 35回 84人参加、中学生 22回 97人参加。 - 相談事業 隨時。各種教室 6教室 延べ73回 550人参加 - ミニディイサー Bis事業 ゲーム、レクリエーション、創作活動、会食などを取り入れ、楽しめる憩いの場として定着した。地域活動への参加につながり新しい仲間が増えた。延べ17回 367人参加 - 百円ランチ 12回 210人 - 交流研修事業 地区の歴史体験・活動などを伝え、人権意識の高揚や差別解消に努めた。研修会 6回 参加者 201人 - その他児童館事業、講演会、セミナーなどより発行等を実施し、人権教育推進や地域活性化に努めた。 - 男性の参加を増やすため、事業内容の検討が必要	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
2-(4) 文化財の保存と活用 芸術と豊かな人間性の創造	82 地域文化活動の支援	82	地域文化活動	生涯学習	豊かでうるおいのある生活を創造するため、町内芸術文化事業を充実する。	- 第11回たそがれコンサート(8月24日・参加団体5・雨天中止) - 第9回伯耆町民音楽祭(3月2日・参加団体15) - 町内の音楽芸術の振興に寄与した。 - 町民のためのコンサート、音楽祭とするために、多くの方が参画できるよう検討する必要がある。	△ 継続事業ほぼ達成10%以上又は新規事業達成不十分50%以上
	83 埋蔵文化財調査事業	83	埋蔵文化財調査	生涯学習	開発に伴つて事前に発掘調査を行い、埋蔵文化財の有無や性格を確認し、事業者との調整を図った。	- 三部長龍寺谷、タノ遺跡の調査報告書の作成 (三部地区砂防堰堤建設事業関連事業) - 金廻芦谷平遺跡発掘調査 (国道181号改良工事関連事業) - 調査成果の地域における周知、活用が今後の課題である。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	84 文化活動団体支援事業	84	文化活動団体	生涯学習	町内の芸術文化活動を行う団体への支援を行ない、文化活動の振興に努めた。	鬼面太鼓振興会・岸本風神太鼓振興会へ補助を行ない、後継者育成、演奏技術の向上等活動を支援活動の活性化を図るために、後継者の育成が必要。また、太鼓の老朽化が進んでおり修繕、更新が必要。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な事業	主な成果等	評価
施策方針	事業方針	85	文化財保護事業	生涯学習	本市にある指定文化財等の維持管理及び地域の景観的な変遷を記録するための定点撮影を行った。 国指定文化財 1件 県指定文化財 1件 町指定文化財 12件	・三部古城山遺跡出土品展(H25・11・8～11・12、11・18～11・22、H26・3・21～3・22) 参加者237名 好評を博し、町内文化財の周知に寄与した。 今後、地域の特色を生かした町内文化財の展示企画する必要がある。	・三部古城山遺跡出土品展(H25・11・8～11・12、11・18～11・22、H26・3・21～3・22) 参加者237名 好評を博し、町内文化財の周知に寄与した。 今後、地域の特色を生かした町内文化財の展示企画する必要がある。	◎ 新規事業目標達成90%以上
		86	文化振興会補助事業	生涯学習	町内の文化活動の活性化のため、伯耆町文化振興会を支援した。 会員数118人(平26年3月現在)	・総会及び文化講演会(6/2 講師:川原栄次 氏) ・第9回伯耆町文化展(11/2～4) 出品251点、観覧者200人 ・視察研修(11/30 鳥取市) ・会報第9号刊行(3月)全戸配布 町全体に文化振興会が浸透していない。町民の関心が高い事業を展開する必要がある。	・総会及び文化講演会(6/2 講師:川原栄次 氏) ・第9回伯耆町文化展(11/2～4) 出品251点、観覧者200人 ・視察研修(11/30 鳥取市) ・会報第9号刊行(3月)全戸配布 町全体に文化振興会が浸透していない。町民の関心が高い事業を展開する必要がある。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		87	写真美術館管理運営事業	美術館	美術館の運営を通じて、植田正治作品の紹介や地域の写真術・文化の振興に寄与した。	・植田正治及び作品について来館団体への説明を積極的に行い、作品や写真芸術への理解を深めることに寄与した。 年間説明団体 20団体415人 H25年度の入館者は22480人(対前年度比24%増) 企画展4回、TV全国放送2回、全国紙3紙、その他雑誌掲載 今後も美術館についての説明を積極的に取り組みを行う	・植田正治及び作品について来館団体への説明を積極的に行い、作品や写真芸術への理解を深めることに寄与した。 年間説明団体 20団体415人 H25年度の入館者は22480人(対前年度比24%増) 企画展4回、TV全国放送2回、全国紙3紙、その他雑誌掲載 今後も美術館についての説明を積極的に行い、来館者の満足度を高めるような取り組みを行う	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		88	写真芸術・文化振興事業	美術館	写真芸術・文化の振興に資することを目的に、フォトコンテスト、ワークショップ、作品説明、フォトスクールを開催した。	・生誕100年事業の一環としてフォトコンテスト、ワークショップを行い、例年を上回る応募があつた。また、フォトスクールも20講座416人が参加。町内外小中学校に加え、町内の高齢者や一般団体等の参加もあつた。 ・フォトコンテスト、フォトスクール、ワークショップとともに参加者のニーズや運営の現状を把握し、それに伴う改善を行つてイベント満足度を高める	・生誕100年事業の一環としてフォトコンテスト、ワークショップを行い、例年を上回る応募があつた。また、フォトスクールも20講座416人が参加。町内外小中学校に加え、町内の高齢者や一般団体等の参加もあつた。 ・フォトコンテスト、フォトスクール、ワークショップとともに参加者のニーズや運営の現状を把握し、それに伴う改善を行つてイベント満足度を高める	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		89	植田正治生誕100年記念事業	美術館	植田正治生誕100年記念事業を開催し、植田正治の業績や写真文化の振興を図った。	・生誕100年事業における3回の特別企画展、フォトイベント、関連事業、ブレイベントを含めて約40,000人の参加者があつた。また、TV全国放送、全国紙や雑誌への記事掲載もあり、写真家 植田正治や写真美術館の情報が発信され、あらためて写真家植田正治の功績が顕彰された。 ・生誕100年事業で獲得したあらたな植田正治ファンの来館につながるようなPRを行う	・生誕100年事業における3回の特別企画展、フォトイベント、関連事業、ブレイベントを含めて約40,000人の参加者があつた。また、TV全国放送、全国紙や雑誌への記事掲載もあり、写真家 植田正治や写真美術館の情報が発信され、あらためて写真家植田正治の功績が顕彰された。 ・生誕100年事業で獲得したあらたな植田正治ファンの来館につながるようなPRを行う	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類 施策 方針	番号 事業方針	事業名	担当	事業概要	主な成果等 主な課題・改善方針等	評価
		岸本公民館		<p>・行政展、青空市、農業祭、吉長市、ブリーマーケット、こどもみこし、お茶席、はつとカフェ、試食コーナー等の実施。</p> <p>・全体チラシと青空市チラシと一緒にした。</p> <p>・新たに、キッズコーナーを設け、沢山の来客があつた。</p> <p>・吉長市の位置の一部を岸本公民館横に変更した。</p> <p>・お祭りらしい催し物（例：お買物券でbingoやくじ引き、餅つき等）の検討。</p> <p>・学生がランティアの数を増やしたい。</p> <p>・催し物の時間テーブルの作成を検討。</p>	<p>・きないや祭り 11月16日～17日開催。</p> <p>・和太鼓コンサート 11月23日開催。</p> <p>・文化祭は、公民館教室・学校・保育所・個人の作品を展示。</p> <p>○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p>	
90 地区文化祭： まつり開催事業	溝口公民館			<p>公民館を主たる会場として、文化祭・祭を実施し、公民館の同好会、保育園児から高齢者まで地域住民の生涯学習の成果発表の場を提供した。</p> <p>実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。</p>	<p>溝口公民館祭 3月21～22日開催 延べ397名来館。実行委員にアンケートを取り、今年度の振り返りと来年度の課題を洗い出した。</p> <p>○ 各種同好会や教室が減少する中、広く町民から作品を募集を行うことでより一層、町民の公民館まつりという意識化を図り、文化的交流の活性化を図りたい。</p>	<p>○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p>
	二部公民館			<p>第30回たたら祭 2月22日～24日開催 延669名来館</p> <p>地区住民・公民館教室内の作品展示、農産物販売、特別展示「二部谷のたら その歴史」等を行い、交流・親睦を図った。</p> <p>二部地区の年間最大行事として、一層の充実を図る。</p>	<p>○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p>	<p>○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p>
	日光公民館			<p>ふるさと祭り3月8日・9日開催 延べ237名来館</p> <p>玄関飾り、日光地域住民によるなつかしの歌コンサートなどステージに一般客も上がり歌うなど共に楽しめた。</p> <p>同好会の作品レベルの向上が図られた。羲方公民館の販売により、交流促進とまつりの広がりが図られた。</p> <p>一般の方の作品展示作品が減少した原因を究明することが求められる。</p>		

○報告書に対する有識者の意見等

本意見は、報告書を社会教育委員(兼図書館協議会委員)、小中学校校長及びPTA会長に送付し、無記名で意見書を返送していただものを掲載しています。

NO	事業名	意見内容
1	伯耆町教育振興会事業・地域教育	<p>年度の重点分野を決めて振興会全体でそれを分担して課題解決していく組織づくりをしていくことが大切だと思います。</p> <p>教育振興会事業はよく活動が出来ているが、啓発活動の更なる取り組みが必要</p>
2	家庭学習の手引き配布事業	<p>評価のとおりだと思う。内容は充実しているが、配布した後の活用について、特に教委と小との連携が必要。教員はよい冊子とは思っているが、教委-学校-家庭の啓発・活用とまではいっていないのが残念。</p> <p>家庭学習に関し1年生以下の未就学児の子を持つ親、家庭のアプローチがもっと大切であると思う。(1年生からでは遅い!)子を持った時から、もっと家庭教育への関わりが必要だと思う。具体的には難しいと思うが、例えば家庭での端末機と子供のあり方(使い方・使わせ方)等小さい事から1つずつ目的を絞って数年計画で行ってほしい。</p> <p>手引きの中に、スマートフォン・携帯電話によるトラブル防止のためにペアレントコントロールの内容を記載してはどうか。</p> <p>手引きはあった方がいいと思うが、どれだけ活用されているのか疑問。入学説明会など学校で使用した後でも、日々手に取って参考になるものにしたい。</p> <p>小、中ともに家庭学習が不足している実状の中で、いかに家庭への啓発していくかが大切。もう少し積極的な取組が必要。</p> <p>「家庭学習の手引き」の見直しが、ぜひ必要と思います。</p> <p>小2からの活用がどうかが問題点。</p> <p>内容はいい。(体づくりのところをもう少し充実してほしいのはあるが)あとは家庭での取組ですが・・・。あと心の関心も少し</p> <p>良くできているとは思いますが、日頃からの活用は難しいと思います。中学生は各学年に分けた方が良いと思います。(1、2年を別にする)</p>
3	学校運営協議会運営事業	<p>各校とも具体的な取組が実施されている。この活動を広く町民に知らせる方法を考えたい。</p> <p>スタートしたばかりで、いかに地域住民が参画していくかが今後の課題である。</p> <p>事業の整理。各校の独自性を図りパワーアップ。本部は縮小を。</p> <p>コミュニティスクールの導入で、どこが変わったのか見えにくい。広報は頑張っておられる。</p>
4	学校支援地域本部事業	<p>学校支援コーディネーターが各校配置になっていることで小回りのできる体制を提供していただいておりありがとうございます。</p> <p>これはとても有効に活動されていると思う。</p>
5	高校生ユースセミナー	<p>高校生の交流の場づくりは、大変重要だと思います。ぜひとも継続していただきたいと思います。</p> <p>さらにいい活動になるようにガンバレ。</p> <p>今後に期待します。</p>
6	子供の体験活動事業(公民館)	<p>内容は、町教振の部会で検討されたり、公民館等で工夫され充実しつつあると思う。更に学校と連携し期日を工夫したり、学校を会場にする等ができればよいと思う。</p> <p>今後に期待します。</p> <p>日頃から公民館が子ども達に近い存在であればと思いますが、バス通の実態から考えると難しいと思います。八郷の子ども達は公民館事業についてはどうでしょうか。</p>

		<p>親と子どもに何が体験したいか、させたいか聞いてみたらどうでしょう。 「イラストとか川遊び」とか言っています。うちの子は。</p> <p>多くの催しを企画していただきており、児童はそれぞれ関心のあるものを選べることができ、その活動を楽しみにしている。</p>
7	子供の体験活動事業(学校)	<p>各学校ではそれに必要に応じた体験活動を仕組んでいます。町全体で必要だと思うことには取り組んでくださればと思いますが、参加人数にはあまりこだわらないようにしていただきたいと思います。</p> <p>今後に期待します。</p> <p>授業や学校行事として行うので意味があると思います。さらにそこから発展させるための受け皿は作るべきでしょう。</p> <p>地域や学校支援地域本部(コーディネーター)の支援により様々な体験活動ができていることをとてもありがたく思う。</p>
8	未来を拓くスクラム教育推進事業	<p>スクラム教育には、それ専門の人員加配があった。そういう加配がないことを前提として今後は進めて行く必要がある。無理のない組織で進めた方が良いと思います。</p> <p>子どもたちへの成果はよくわかりませんが、先生同士で交流できていることは成果大だと思います。</p> <p>小中一貫の取り組みがよく行われている。</p>
9	伯耆町教育振興会事業・研究推進	<p>事業内容が今ひとつはつきりしません。</p> <p>小中一貫カリキュラムを作るには、かなりの人員を投入する必要があると思います。各部会に分散しているのがかえって現場の苦しみになるように思うのですが。</p> <p>モジュール学習は大変良いと思う。</p> <p>期待しています。</p> <p>小中一貫教育を推進する上での職員間のよき協働・交流の場になっている。</p>
10	伯耆町教育振興会事業・就学支援	<p>今後は更に保小連携が必要になってくる。</p> <p>事業概要が今ひとつはつきりしません。</p>
11	確かな学力定着促進事業	校内研究会講師謝礼等の予算化を図っていただきており、大変ありがとうございます。できれば成果を(学力面で)出したいと思ってはおりますが・・・。
13	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	<p>古いOSを更新できないのは、子ども達に使用できない(学習できない)状況を創り出してしまったのは、学校を含め怠慢であったと反省しています。</p> <p>時代に遅れない教育を目指してほしい。</p> <p>パソコンは移動も容易であるため、統合後も各教室等でも活用できる。岸小、溝中、岸中以外の学校も整備していただきたい。</p>
14	外国青年招致事業	<p>児童の英語活動への興味関心の向上に大いに役立っている。</p> <p>引き続きお願ひします。</p> <p>いい事業です。文化交流という点でも。</p> <p>14・17はどちらかに統一してはどうか。</p>
15	学校統合準備事業	<p>町の方針を今以上に明確に示さなければ、学校統合は難しいと思う。</p> <p>納得のできる資料作成をお願いします。</p> <p>時間がかかりすぎ。</p> <p>先が見えない感じ。今後の町のため、子どものために一番良い方法を早く決めて欲しい。</p> <p>25年度の国の予算がおりるときに統合すればよかつたのに各校の維持費などにより統合経費も少なくなるのでは?</p> <p>動きが鈍い。町も議会も教委もみんな悪者になりたくないでズルズルと遅くなっている。統合年度の早期決定を望む。</p>
16	運動部活動推進事業	水泳、陸上練習に指導者派遣をしていただき効果的な指導ができるよう体制を作る必要がある。

17	特別非常勤講師配置事業	No.14外国青年招致事業との違いは？
18	伯耆町教育振興会事業・人権教育	事業概要が今ひとつ、はつきりしません。
19	人権教育の推進	懇談会やセミナーの参加人数が多ければ良しとする向きがあるように感じる。それでは、参加する者も何の目的もなく「とりあえず出席する」だけで終わると思うので、参加したことでのような変化があれば良いか(期待)など、具体的に目的をかけて計画しなくては意味がないと思う。 学校によって理解に差がある。 18と19と分ける必要ありますか。
20	青雲寮管理運営事業	通学合宿の様子を聞くと、風呂が小さく不便、炊事場も不便、洗濯も不便だと聞いていますが、充分活用できる施設なのでしょうか。 中学校部活、町内団体の合宿などに積極的に活用・宣伝してほしい。 有効活用をしましょう。
21	伯耆町教育振興会事業・学校保健	事業概要が今ひとつ、はつきりしません。
22	栄養教諭による食指導	学校の食育指導によくでかけていただき、ありがとうございました。 継続的に実施していただきたい。 これは必ず必要です。 体づくりの基本をこどもたちに教える「食育」にはさらに力を入れてほしい。 栄養教諭の配置は、とても大事だと思います。今までの食育、栄養指導の継続が必要だと思います。 H26は加配がなく食育栄養指導が全くできていない。
23	学校給食施設管理運営事業	アレルギー児童への代替食の提供が全くできていない。早急に施設・人員の整備をする必要がある。 会計がずさんと聞いている。しっとかりと管理してほしい。
24	学校給食費補助事業	町学校給食会で滞納が話題になりますが、各校への個別の督促状況の様子は知らされているのでしょうか。その辺の情報がないとなかなか協力しづらいものがあります。
25	食材供給連絡協議会との連携	伯耆町産使用率の目標値を設けてはどうか。
26	スクールソーシャルワーカー活用事業	S S Wの配置には骨折りいただきありがとうございます。 SSWのニーズは高まる一方のような気がする。SCも同様、これからも継続配置をお願いしたい。 良い動きが出来ています。 適時、必要な情報を伝えている。
27	特別支援教育支援員配置事業	学習指導員の必要性は年々高まっている。現在の7名では十分な対応はとれでおらず人員を増やしていく必要がある。 児童の実態は、年々厳しさを増しています。支援員の継続した配置が必要だと思います。 人員配置に配慮いただき、ありがとうございます。
28	教育支援センター運営事業	動きが見えにくい。
29	少人数学級実施事業	複式（授業）学級解消の為の加配をいただきありがとうございます。 少人数学級の評価は（N.O.30と）どちらか。（成績、学習への取組意欲、自主自立性の向上等） 伯耆町の他に誇れるすばらしい事業だと思います。ぜひ継続をしていただきたいと思います。

		30人学級はとても評価できる取組である。
30	少人数学級を活かす学びと指導の創造事業	中学校区で共通実践項目を共通理解しながら、足並みを合わせて取り組むことができました。
33	中学校区の児童生徒を語る会	あまり認識がありませんでした。 保小中で行う必要があります。
34	就学支援検討会	個別の支援計画の策定及び引継ぎにより、児童生徒理解に役立つと考えられる。有効活用するための研修が必要となる。 対象児の観察がきちんとなされており、よいことだと思います。
35	家庭教育支援事業	見えてきた課題や反省点から、次への具体的な目標が見えてくると思うので、そこを軸にして、より良い事業計画を考えて行くのがベストだと思う。 もう少し家庭に入り込む工夫を。 家庭の教育力向上のために、親同士（家同志）がつながることが大切だと思うのですが、よい策がありません。
37	学校図書整備及び図書館司書配置	職員の全校配置はありがたいが、6時間勤務ということで図書教育が充実されていないと感じる。合併前の岸本町が図書の充実度は全国にも誇れるレベルであったことをから考えると町の図書館(特に学校)を軽視する姿勢は明らかに後退である。財政当局への働きかけを更に強めてほしい。議会と連携する必要もあると思う。  司書の方々の頑張りには感謝します。ただ、せっかくの文化施設であるのに、5月連休が休館というのは、とてももったいない。残念である。GW、遊びに行けない子供、大人、高齢者等、GWにこそ図書館に行きたい人も多いのではないか?2館あるので、せめてどちらか開館できないか。  学校図書館職員の配置について、今後ともよろしくお願ひします。  伯耆町では、すばらしい図書環境が整いつつあります。今後も学校図書館司書の配置は欠かせないとと思います。  学校図書職員の勤務を8時間とし、放課後バス待ち時間も利用できる環境を整えたい。
38	教職員研修会（全教職員対象）	今後もできるだけ参加するようにしなければと思いますが、7月は特に各種出張があるので、なかなか難しいよう思います。 町内職員の共通理解の場としてのよい研修となっている。
39	学校要請訪問、学校随時訪問	忙しい中でも優先して来校し指導してくださりとても感謝している。
40	伯耆町教育振興会事業・教職員研修会	事業概要が今ひとつはっきりしない。No.38との違いは?
41	伯耆町教育振興会事業・生徒指導	事業概要が今ひとつはっきりしない。 LINEユーザーは5,000万人です。持たないことはできないのでマナーをしっかりと教えてください。
42	学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問	適時に学校訪問をしていただき、よい刺激になる。
43	小学校施設修繕事業	網戸をつけていただき、スズメバチにさされる心配が減りよかったです。
44	中学校施設修繕事業	危険箇所がないよう更新をお願いします。
45	中学校備品(机・椅子)整備事業	とても良い。
48	学校安全体制整備推進事業	大松さんには、子ども達の安全な生活の為によく動いていただきありがとうございます。 学校安全ボランティアの組織が把握できておらず連絡等がとれない。

		スクールガードリーダーの存在自体から小学校の保護者に知られてないで す。PTAやボランティアとの連携と認知。
49	伯耆町教育振興会 事業・学校事務	事業概要が今ひとつはつきりしない。
49	伯耆町教育振興会 事業・学校事務	見える化が効果を示している。
52	図書館振興事業	公民館、図書館との連携は何かありませんか。
53	伯耆町教育振興会 事業・図書館教育	事業概要が今ひとつはつきりしない。
54	生涯学習まちづ くり推進事業	CATVの動きが良い。
55	鬼の館運営事業	文化の拠点になりえる工夫が必要
56	青年の家管理事業	学童、公民館利用場以外の部屋の管理はどうなっているのか?
57	社会教育主事等 の育成	先を見通した社会教育主事の計画的な養成が必要だと思います、
59	生涯学習支援事業 (各種教室・講座 の開催)	公民館が老いも若きも利用しやすい施設となり得るかが、課題だと思います。
60	社会教育委員及 び図書館協議会 委員	社会教育委員と図書館協議会委員と一緒に評価してしまうのは、おかしくあ りませんか。図書館振興で図書館協議会を扱うべきだと思うのですが。
63	スマイリースポー ツクラブ支援	トライアスロン育成、スナッッグゴルフ教室なども作り、伯耆町の特色を出せ たらよいと思う。
65	伯耆町体育協会 補助事業	これは他の多くの自治体でも言えることですが、小学生、中学生を大会に出 場させるには、学校の教員が引率しないとできなくなっています。地域総合 型スポーツクラブを目指すならば、スポーツ団体が小中高生とつながってい く（面倒を見る）体制づくりが必要だと思います。
66	伯耆町駅伝	二部マラソンと合わせて開催の検討が必要だと思います。
67	オーリジナル トライアスロン in 伯 耆補助事業	町内の子ども達が、もっともっと参加するよう働きかけが必要 暑い時期に実施される。時期をずらせませんか？
70	地区運動会・そ の他イベント開催 事業	二部マラソンは公民館の事業ですか。町の行事だと思っていましたが。 二部マラソンは参加者が年々減っている。見直しが必要なのではないか。 秋にスポーツイベントが集中しすぎているように思います。
71	青少年育成伯耆町 民会議運営支援	内容を精選し、重点化していくべきです。
72	成人式	バーベキューでもしたらどうですか。
72	成人式	この日の出前図書館は、素晴らしい事業だと思うので、ぜひ続けてほしい。 記念講演の講師として、地元伯耆町出身の「イモトアヤコ」さんに来ていた だけないか?ミーハーではなく、自分の夢を実現させるべく努力して、実際に 夢を実現させた人なので、成人者たちも興味をもってくれるのではないかと 思う。
73	夏休み自然体験 キャンプ事業	復活させてください。26年の夏は公の主催するキャンプや自然体験が少なく なったような感じがします。
74	通学合宿事業	子どもの協調性を高め、親への感謝を知るよい取組である。 なくすのは残念。学校支援ボランティアの人とかの活用を考えてみて は・・・
75	読谷村教育交流	読谷村を選定した理由は? 海外との交流もあっても良いと思います。 とても良い、継続して欲しい。 積極的に進めていきたいと思います。

76	人権同和対策事業	No.76とNo.77の違いはなんですか。
77	人権教育推進事業	人権同和問題実践交流会の期日が突然変更になり、PTA行事を変更せざるを得なかった。この春の総会も、学校の代休に設定され当惑した。期日設定については、十分配慮した上で決定してほしい。人権に限らず町の行事は予算計上時には決定し、関係機関に示す等の段取りで進めてほしい。
78	人権教育・啓発推進協議会補助金	明るいまちづくり懇談会・・・やり方を変えられたが、本当に成果は出ているのだろうか。全体研修会2会場で118人は少ない。
82	地域文化活動の支援	町民音楽祭については、熟考し、さらに練ってほしい。何でも「学校に!」というスタンスはいかがなものか。 たそがれコンサートの場所の検討が必要
83	埋蔵文化財調査事業	現地説明会の開催や発掘調査結果の報告書があると良い。
84	文化活動団体支援事業	その通りです。
86	文化振興会補助事業	文化(音楽・伝統芸能・歴史まで)の枠を広げて発展的解消に 音楽面の補助どうなっていますか。音楽も文化です。
88	写真芸術・文化振興事業	フォトスクールは貴重な体験活動となっている。 いま写真ブーム(特に中高生)になっているようです。うまく追い風になれば。 フォトスクールは小学生には、とても楽しい取り組みだと思います。
89	植田正治生誕100年記念事業	久しく作品について気にとめることもなかつたが、TV番組で認識を新たにした。 事業はいいと思うが、必要経費は?赤字財政では?
90	地区文化祭・まつり開催事業	その地区の思い入れがあってよいと思います。この時は「公民館が近くでいいなあ」と思います。

#### ○その他教育行政全般についての意見等

本意見は、報告書を社会教育委員(兼図書館協議会委員)、小中学校校長及びPTA会長に送付し、無記名で意見書を返送していただいたものを掲載しています。

他市町村はない学校教育への予算計上や、教委と学校との細やかな連携や指導があり、ありがたく感じている。今後も鳥取県をリードし、全国発信する教育行政を進めていただきたい。
評価の欄の達成率は、事業実施率なのでしょうか。実施率に対する評価も大事だと思うが、各事業のもっと具体的な目標(記されていないが)に対する内容の満足度とか、そのような達成率も大切なないかと思う。
各事業全般に、講演会やセミナー等「何のために行うのか」「聞いた人、参加した人にどのようになってほしいか(考え方方がポジティブになるとか、何かしらの変化を期待するとか・・・)等具体的に目標・目的を明確にして考え、取り組んでほしい。⇒毎年やっていることだからとか、単に参加人数が多ければ良いということではなくての意味。
事業(評価項目?)が90もあれば大変な感じがします。合体させたりスリム化してはどうでしょうか。
①評価方法は、新規・継続事業を統してはどうか。 <input checked="" type="radio"/> 達成された <input type="radio"/> ほぼ達成された <input type="triangle"/> 一部不十分な事業 <input type="triangle"/> ほとんど達成されなかつた <input checked="" type="circle"/> 実施しなかつた ②新規事業は事業名の後に(新規)と記載してはどうか。
伯耆町の教育行政は、とても先進的な取組をされていると思います。年間を通して、ややイベントが多いように思います。精選していく必要があると思います。
巣立っていった子どもたちが、将来、また帰ってきたいと思うような町づくりをしてほしい。「伯耆町ならでは」ということがあまり感じられない。

教育行政全般については、成果や課題など年ごとに統括しないのでしょうか。事業を「した」「しない」で評価しているのは、茶碗のご飯が多い少ないを言っているだけで、肝心の自分の体力がついたか、身になったかを見ないので同じだと思います。

アンケートを取るための社会教育の会を開いてください。90項目小さい字で読むのに苦労しました。顔を見合った会にしてもらうとよろこびます。